

道の駅『筆柿の里・幸田』がオープンしました。

平成21年4月4日(土)、国道23号線(岡崎バイパス)沿いの幸田町大字須美・桐山に、道の駅「筆柿の里・幸田」がオープンしました。道の駅の名前は、公募によりアイデアを募り、幸田町特産の筆柿と周囲の豊かな自然にちなみ、名付けられました。

道の駅に隣接して地域振興施設が建設され、幸田町の農産物等を販売する直売所と食堂が設けられました。直売所は、幸田町南部地域の生産者の農産物の販売と地産地消の推進を図るための拠点施設として、幸田町が強い農業づくり事業を活用して整備したものです。産地直売施設として農産物を販売することにより、小規模生産者の生産意欲の向上と農業所得の増大を図るとともに、農作物の作付拡大による耕作放棄地の解消や、消費者の要望に応えた顔の見える地産地消の推進を図ることを目的にしています。

(営業時間：9時～18時。年中無休(12/31～1/4を除く))

[中部の「道の駅」のページへ](#)



地域振興施設の外観(農産物直売施設側)



農産物直売施設の店内(手前は箱)